

UCS B シリーズの最初の調査のデータを収集することは発行します

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[時もしデータが収集されれば](#)

[どんなデータが収集する必要があるか](#)

[どんなテクニカルサポートが組み込むか集める必要があります](#)

[UCS B シリーズ問題](#)

[UCS C シリーズ統合されたサーバ](#)

[オペレーティング システム テクニカルサポート データ](#)

[VMware ESXi](#)

[Red Hat Linux は製品を基づかせていました](#)

[SUSE Linux は製品を基づかせていました](#)

[Microsoft Windows](#)

[UCS テクニカルサポートを集めるときその他の 考慮事項は組み込みます](#)

概要

この資料は Cisco TAC が UCS 関連 サービス 要求の調査のために要求するよくあるデータを記述したものです。

サービス リクエストに大幅にそのようなデータの接続問題の最初の識別のためにかかった時間を開くとき減らすことができます

問題の時に集められるデータの欠如は提供することができる個別の問題点がなぜの発生したか Cisco TAC が限定的な説明をように不可能にするかもしれません

前提条件

この資料は必須テクニカルサポート バンドルを生成する UCS GUI/CLI に *admin* 水平なアクセスがあることを仮定します

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

Cisco UCS Manager

Cisco Unified Computing System (UCS) Manager コマンド ライン インターフェイス (CLI)

時もしデータが収集されれば

Cisco は一般に TAC は約束望まれる/要求されるかもしれないことを疑われるとすぐ関連データを生成するために助言します。

これはもはや一般的に見られるファブリック Interconnects のリポートがどこに行われたか含まれているより大きいですか急速に変化する環境の対象の時を、カバーする重要なログファイルを避けることではないです

を探します。

であるので、必要となる UCSM テクニカルサポートがシャーシか他のテクニカルサポート ファイル前に生成される複数のテクニカルサポートの場合には Cisco TAC が一般的に助言します重要な生成するべきほとんどの時間はおよび最も時間のかかりますまた。

どんなデータが収集する必要があるか

テクニカルサポート以外、下記のものを含むかもしれない集める必要がある問題についての重大なデータ組み込みます:

- 問題の日付/時間
- 影響を受けたサーバかサービス プロファイル
- 問題の時に見られるエラー PSOD/BSOD/Kernel パニック画面の特にスクリーン ショット
- どの変更でもその時にまたは最近の過去に実行しました
- 問題を解決するか、またはサービスを回復 するどんな操作が、もしあれば、実行されたか
- OS 型およびバージョン
- VIC ドライババージョンすなわち ENIC/NENIC/FNIC バージョン
- RAID コントローラ ドライババージョン
- あらゆる疑われたトリガーの情報はロード、毎夜のバックアップ/保全 タスク先祖などのような調節します
- アップストリーム イーサネットまたは SAN のようなトポロジの基本的な概観は、切り替えましたり、ストレージ アレイ先祖など
- 問題の時のまわりに UCS Manager で表示されるコア ファイルをアップロードして下さいただし、またである状況の重要な要因含まれます信じる他のデータ

どんなテクニカルサポートが組み込むか集める必要があります

通常 Cisco TAC は開始点として次のテクニカルサポート バンドルを要求します:

UCS B シリーズ問題

UCSM テクニカルサポート

影響を受けたサーバをカバーするシャーシ テクニカルサポート。

UCS Cシリーズ統合されたサーバ

UCSM テクニカルサポート

影響を受けたサーバをカバーする FEX テクニカルサポート

ラック サーバ テクニカルサポート

同じようでしかし変化しないサーバからの Chassis/FEX/Rack テクニカルサポートを提供することはまた役立つかもしれませんが

オペレーティング システム テクニカルサポート データ

OS テクニカルサポート データは相互運用性 の 問題の場合には Cisco TAC 分析に役立つかもしれないことを信じる状況では以下は開始点として提供することができます:

VMware ESXi

vm サポート

Red Hat Linux は製品を基づかせていました

sosreport

SUSE Linux は製品を基づかせていました

supportconfig

Microsoft Windows

アプリケーションおよびシステムイベントは evt または evtx ファイルフォーマットをログオンします

「systeminfo」の出力が類似した

UCS テクニカルサポートを集めるときその他の 考慮事項は組み込みます

可能な限り単一より大きいファイルに複数のテクニカルサポート バンドルを結合しないで下さい

UCS テクニカルサポートは最終的なファイルの .tar 拡張にもかかわらず既に広く、圧縮されます。

ただし、他の大きいデータファイルが圧縮されていなければ、標準形式 (zip/gz/bz2/7z 等) を使用して圧縮は推奨されます。

明示的に指示される、「UCSM テクニカルサポート バンドルよりもむしろテクニカルサポート ファイルまたは供給 ucsm-mgmt の Exclude コマンドのオプションの使用方法を十分に避けないで下さい

ブレードかラック サーバが PSOD/BSOD/Kernel パニックを経験する場合、UCSM のリセット オ

プシヨンを使用してサーバを、シャットダウンしませんそれからサーバのブートをリブートして下さい。

これは追加情報をテクニカルサポート バンドルに含まれているトラブルシューティングのために生成します。